



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

7月号

 北区立さくらだこども園
 園長 西澤尚子

水遊びで発見！

今年も猛暑を予想して、さくらだこども園では昨年度よりも少し早くプール開きをしました。そのため、もう何度かプール遊びを楽しんでいます。水温は気温ほどは上がらないので始めのシャワーは「冷たい！」という幼児もいますが、遊び始めるとプールの中でもテント下の水遊びでも夢中になって次々にしたいことを試す様子が見られます。

プール開きのときに子どもたちに「水となかよしになってください。なかよしというのは、知ることです。冷たいとか温かいとか、触ったらどんな感じとか、いろんなことを自分の体全部で感じることです。たくさん水で遊んで、試してみて、今よりもっとなかよしになってください」と話をしました。水にはチャレンジ、発見の種がたくさんあります。気になること、してみたいことを自分なりに繰り返し、試し、自分で発見する喜びが感じられるように支えていこうと思います。

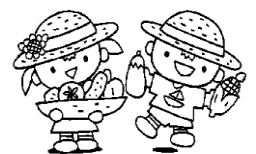
5歳児がシャボン玉をしていたときに、雨上がりの濡れた地面に乗ったシャボン玉が割れずにいるのに気付いた幼児がいました。自分で何度か試して、濡れた地面のシャボン玉はやっぱりすぐには割れないと思うと、友達に「見て見て」と割れないシャボン玉を見せていました。何日か後、先生がタライに水を汲んでおくと、そこで数人の5歳児がタライの水の上にシャボン玉を吹いていました。水の上のシャボン玉に息を吹き込み大きく膨らませたり、シャボン玉が合体するのを見付けたりし、一緒にいる幼児同士で気付いたことを話しながら何度も試していました。

4歳児はプールの中で動物に変身して動いたり、フープくぐりをしたり、水鉄砲で的をねらったりと、先生と一緒にすることで新しいことにも楽しんで取り組んでいます。水車を回そうと水鉄砲で水をかけても回るときと回らないときがあるのを、4歳児なりに、行動しながら考える様子が見られました。明確に「こうすれば」とはならなくても、同じようにしているつもりなのに違うことが起きる、と気付くことも大きな発見です。

さくらだこども園は7月21日より、幼稚園卒の幼児が夏季休業日となります。それぞれのご家庭で、それぞれの夏の過ごし方があると思いますが、ぜひ夏ならではの時間を親子で楽しんでください。6月に永井伸人先生に教えていただいた親子ふれあい遊びは、繰り返ししてみると、お子さんの成長や表情に気付くきっかけになりますね。幼児期に体験したことは、大人になっても心に強く残るものです。自分で発見し気付くことの喜びは、様々な場面で生きるものだと思います。今年度もさくらだこども園は「とうきょう すくわくプログラム」に取り組み、子どもたちの探究心を育てる教育・保育活動を進めています。ご家庭でも、子どもたちの発見・気付きと一緒に面白がって、大人も発見し、「すごい！」「どうしてだろう？」と思うことを楽しんでみてください。

そして、楽しい夏になるように、「危険に気付く」ことも大切です。気付いて行動することが身を守ることに繋がります。ご家庭でも楽しく、安全な夏をお過ごしください。

—今月の指導のめあて—



- 〈4歳児〉・したい遊びをする中で、自分なりに動きや言葉で思いを表そうとする。
 - ・学級の活動の中で、様々な友達と関わって遊ぶ楽しさを感じる。
 - ・プールや水を使った砂遊びなどの様々な水遊びをする中で、水に触れる心地よさや面白さを感じる。
- 〈5歳児〉・友達の話最後まで聞いたり、相手の思いを確かめたりしながら、遊びや生活をすすめようとする。
 - ・プールや砂場での水遊びなどを楽しむ中で、水の感触の気持ちよさを感じたり、水の特性に気付いたりする。